

## 出エジプト記1-2章 奴隷とされた民

先ず始めにヨハネの福音書 15章 18~19節を読みたいと思います。

世があなたがたを憎むなら、あなたがたよりも先にわたしを憎んだことを知っておきなさい。 19 もしあなたがたがこの世のものであったら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではありません。わたしが世からあなたがたを選び出したのです。そのため、世はあなたがたを憎むのです。

この聖句から始めたかった理由は、神の目から見れば、神の民である私たちの現実、3400年前の神の民、イスラエルの子供たちが経験した現実と同じであることを示しているからです。今日、出エジプト記の書を実際始めるにあたり、最初の2章で、私たちはそのことを知ることになります。創世記でアブラハムの家族を最後に見たとき、彼らは一族を全滅させうる飢饉から逃れるためにエジプトに移っていました。神は、アブラハムの曾孫であるヨセフを使って、アブラハムの孫ヤコブの姓であるイスラエルの民を救われたのでした。しかし、創世記を離れ出エジプト記に入ると、状況は一変し、ヨセフの時代のようにエジプトに歓迎されるどころか、奴隷にされてしまったのです。これが出エジプト記の冒頭で見ることです。出エジプト記1章の5節から14節でそれを見ましょう。

出エジプト記 1章5~14節 ヤコブの腰から生まれ出た者の総数は七十名であった。ヨセフはすでにエジプトにいた。 6 それから、ヨセフもその兄弟たちも、またその時代の人々もみな死んだ。 7 イスラエルの子らは多くの子を生んで、群れ広がり、増えて非常に強くなった。こうしてその地は彼らで満ちた。 8 やがて、ヨセフのことを知らない新しい王がエジプトに起こった。 9 彼は民に言った。「見よ。イスラエルの民はわれわれよりも多く、また強い。 10 さあ、彼らを賢く取り扱おう。彼らが多くなり、いざ戦いというときに敵側についてわれわれと戦い、この地から出て行くことがないように。」 11 そこで、彼らを重い労役で苦しめようと、彼らの上に役務の監督を任命した。また、ファラオのために倉庫の町ピトムとラメセスを建てた。 12 しかし、苦しめれば苦しめるほど、この民はますます増え広がったので、人々はイスラエルの子らに恐怖を抱くようになった。 13 それでエジプト人は、イスラエルの子らに過酷な労働を課し、 14 漆喰やれんが作りの激しい労働や、畑のあらゆる労働など、彼らに課す過酷なすべての労働で、彼らの生活を苦しいものにした。

神はアブラハムを大いなる国民にすると約束されました。創世記12章2節で、神はアブラハムにこう語っています。創世記 12章2節 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。

エジプト記の後半にあるように、70人でエジプトに移り住んだ家族を、今や100万人を超える数に成長させるために、エジプトの国は神にとって完璧な空間を提供していました。これはすべて神の御計画の一部でした。実際、神がアブラハムに約束された息子を授けるずっと前から、神はこのことを彼に預言していたのでした。創世記 15章13節 主はアブラムに言われた。「あなたは、このことをよく知っておきなさい。あなたの子孫は、自分たちのものでない地で寄留者となり、四百年の間、奴隷となって苦しめられる。

そのため、神の民は自分たちのものではない土地で奴隷となり、自分たちの神を崇めない王国と民に仕えることになりました。実際、彼らは虐待され、エジプトの王たちの労働力として使われました。彼らは、ヨセフがエジプトの支配者になった頃にはすでにあったピラミッドのような、エジプトで最もよく知られている古代の建造物を建設したわけではなく、古代エジプトの多くの地域、特にこの箇所では名前が挙げられている都市で、建物や建造物に使われるレンガを作りました。

どうしてこのようなことが起こったのでしょうか。大いなる国民にするという神の約束が成就し、神によって明らかに祝福されている民が、その成長がために奴隷になるとは。その答えは、神の御計画とその祝福さえも、この世の価値観に反しているため、神に背く支配者にとっては脅威となるからでした。

そして、私たちが生きている今日の世界と同じように、神に背く支配者たちは、さまざまな形で社会の悪を支持し、時にはそれを強制します。神の民は当時、このような悪に直面し、私たちも

同様にそれらの問題に今日直面しなければなりません。私たちは、出エジプト記 1章 15-17節で次に起こるこの対決を見ます。

**出エジプト記 1章 15~17節** また、エジプトの王は、ヘブル人の助産婦たちに命じた。一人の名はシフラ、もう一人の名はプアであった。 16 彼は言った。「ヘブル人の女の出産を助けるとき、産み台の上を見て、もし男の子なら、殺さなければならない。女の子なら、生かしておけ。」 17 しかし、助産婦たちは神を恐れ、エジプトの王が命じたとおりにはしないで、男の子を生かしておいた。

この出来事は、少なくとも社会の一部が、周囲の敵対的な世界を前にしても、神を恐れ、神に従い続けたことを示しています。これこそ、歴史を通しての神の民のスタンスであるべきです。クリスチャンとして、神の民として、私たちが信じることに反対する支配者や世界体制、国家は常に存在します。しかし、神の民は、支配者や世界の言うことに逆らい危険を冒してでも、神に従い続けます。そして神は、彼女たちの忠実さを用いて、国民だけでなく世界を祝福されました。彼女たちは、私たちが名前を知っているほど重要な人たちですが、ファラオの名前はまったく挙げられていません。

というのも、出エジプト記の記述を史実と受け入れるほとんどの歴史家は、当時のファラオは歴史家がエジプトの歴代支配者の中で最も重要な人物の一人とみなすラムセス2世だと考えているからです。やがてファラオは、自分の命令を明らかに無視する助産婦たちに腹を立て、エジプト全土の人々にその命令を下します。

**出エジプト記 1章 22節** ファラオは自分のすべての民に次のように命じた。「生まれた男の子はみな、ナイル川に投げ込まなければならない。女の子はみな、生かしておかなければならない。」

そのような環境の中で、イスラエルの民の救い主となり、彼らをエジプト脱出へと導く少年が生まれました。第2章は、この少年が生まれ、母親が3ヶ月間彼を隠し、ついに隠しきれなくなるところから始まります。母親は男の子が水に浮く籠を作ってナイル川に流し、親切なエジプト人がこの子を自分の子として養子に迎えて命が守られることを願っているようでした。

神の主権による御計画によって、その男の子はファラオの娘の一人に見つかり、彼女はすぐにその男の子がヘブル人であることを知り、死刑に処せられるべきであったにもかかわらず、その代わりにその子を養子にし、川辺から見ていたその子の姉の提案で、その子がファラオの娘に返される年齢になるまで、その子を養育するために実の母親を雇ったのです。出エジプト記2章10節にこうあります。 **出エジプト記 2章 10節** その子が大きくなったとき、母はその子をファラオの娘のもとに連れて行き、その子は王女の息子になった。王女はその子をモーセと名づけた。彼女は「水の中から、私がこの子を引き出したから」と言った。

モーセという名のこの少年は、民をエジプトから導き出す救い主となる。しかし、神はまず、彼をエジプト人、さらにはヘブル人の影響の及ばない場所に移動させることによって、彼を形作られました。11-15節には、その経緯が書かれています。

**11** こうして日がたち、モーセは大人になった。彼は同胞たちのところへ出て行き、その苦役を見た。そして、自分の同胞であるヘブル人の一人を、一人のエジプト人が打っているのを見た。 **12** 彼はあたりを見回し、だれもいないのを確かめると、そのエジプト人を打ち殺し、砂の中に埋めた。 **13** 次の日、また外に出てみると、見よ、二人のヘブル人が争っていた。モーセは、悪いほうに「どうして自分の仲間を打つのか」と言った。 **14** 彼は言った。「だれがおまえを、指導者やさばき人として私たちの上に任命したのか。おまえは、あのエジプト人を殺したように、私も殺そうというのか。」そこでモーセは恐れて、きっとあのことが知られたのだと思った。 **15** ファラオはこのことを聞いて、モーセを殺そうと搜した。しかし、モーセはファラオのもとから逃れ、ミディアンに着き、井戸の傍らに座った。

モーセはファラオの家庭で育ちました。彼はエジプト特権階級が提供する最高のものを楽しんでいたと思われますが、ヘブル人としての自分を見失っていませんでした。彼はファラオの娘の養子でありましたが、実際には彼の実母が彼を育てたのであり、彼は明らかに自分の生家をよく知っており、自分がエジプト人であると見られていたとしても、自分の家族や国民との強いつなが

りを感じていたのです。それは、ヘブル人を虐待していたエジプト人を殺害するほど強いものであり、国民と家族の絆を共有する2人のヘブル人を戦わないようにさせようとしていました。残念なことに、彼の民への支援の表示は思い通りにはいかず、彼が知られていないだろうと思っていたことは、彼が思っていたほど隠されてはいませんでした。殺人のことはファラオの耳に入り、モーセは逃げなければなりませんでした。しかし、神はまだ働いておられ、モーセはミディアンで井戸のそばに座りながら、どうしたらよいかと考えているうちに、妻のツィポラと出会い、義父レウエルのもとで羊飼いとして働くようになります。そして、22節には息子の誕生が記されています。

**出エジプト記 2章22節 彼女は男の子を産んだ。モーセはその子をゲルショムと名づけた。「私は異国にいる寄留者だ」と言ったからである。**

そして、息子の誕生とその息子につけた名前にも、モーセの側に、エジプトであれミディアンであれ、自分が住んでいる場所は自分の本当の故郷ではないという認識が見られます。この非常に大きなヘブル人家族の最初の先人であるアブラハムもまた、自分が他国人であるという感覚を感じていました。

**ヘブル人への手紙 11章8~10節 信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかを知らずに出て行きました。9 信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をと共に受け継ぐイサクやヤコブと天幕生活をしました。10 堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都の設計者、また建設者は神です。**

そして今、モーセは他国人、寄留者、自分のものではない土地にいるという同じ感覚を感じています。この感覚は、イスラエルの民、ヘブル人すべての感覚を表しています。そして、現代に当てはめると、この世界に生きる信仰者である私たち全員の感覚を表しているはずで、新約聖書は、私たちを神の民であるクリスチャンとして、この世の寄留者であり流浪者であるという同じ言葉で私たちの状態を描写しています。

**ペテロの手紙 第一 2章9~11節 しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださった方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるためです。10 あなたがたは以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、あわれみを受けたことがなかったのに、今はあわれみを受けています。11 愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは旅人、寄留者なので、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。**

神は変わることはありません。出エジプト記の時代の神の民に対する御業は、今日の神の民に対する御心と御業を示しているのです。2章が終わりに近づくにつれ、私たちは本書の冒頭を飾るこの箇所と、神の民の状況に対する神の御心を見ることになります。出エジプト記2章の23節から25節を読みましょう。

**出エジプト記 2章23~25節 それから何年もたって、エジプトの王は死んだ。イスラエルの子らは重い労働にうめき、泣き叫んだ。重い労働による彼らの叫びは神に届いた。24 神は彼らの嘆きを聞き、アブラハム、イサク、ヤコブとの契約を思い起こされた。25 神はイスラエルの子らをご覧になった。神は彼らをみこころに留められた。**

これが、出エジプト記の最初の2章と残りの部分で起こることの主要点です。神の民は奴隷となり、モーセを含む多くの人々にとって、神は彼らの苦しみの前に不在で沈黙されているように思えたことでしょう。しかし、神はそこにおられました。神は彼らの声を聞かれました。そして、彼らの祖先であるアブラハム、イサク、ヤコブと400年以上前に交わした契約を思い起こされ、守られました。私はこの最後の言葉が好きです…**神はご覧になった。神はみこころに留められた。**あなたが今日、どのような経験をなさっているのかは知る由もありません。聖書の中ですで見えてきたように、イエス・キリストを通して神を知り、神の民と呼ばれる私たちは皆、この世で永遠の外国人、またはそのように感じるべきですが、そのように生きているため、厄介な状況に置かれています。

そのため、イエス・キリストへの信仰を公にすると、多くの場合、居心地が悪くなるだけでなく、まだしも、居住地によっては危険になることさえあります。しかし、私たちはまた、死や病気や自然災害や戦争や政治が私たちの生活に影響を及ぼすような、罪深い世界に生きることから生じる人生の状況にも直面しています。家族が崩壊し、友人でさえも裏切り、配偶者が互いに罪を犯しあい、罪深い人々が他の罪深い人々を傷つける世界なのです。そして、聖書はこう教えます。

**ローマ人への手紙 3章23節 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができません、**

私たちの人生は、私たち自身の罪や他の人たち、そして私たちを取り巻く世界のすべての影響を受けているため、神が沈黙しているように感じたり、私たちが経験していることに神が無関心で遠くにいるように感じたりすることがよくあります。ですから、私たちは落胆しながら人生を耐えていきます。あるいは、スポーツやTiktokなど、良いことも悪いことも含めて、他の多くのことで気を紛らわせ、この人生における落胆や挫折を無視していきます。それらの娯楽や、人生における肯定的な人間関係から来る良いことでさえも、私たちの目をこの世とその楽しみに夢中にさせ、これが神が私たちに意図される究極の人生ではないことを忘れさせてしまいます。ですから、落胆や楽しみによって、神は遠く、沈黙しているように思えてしまうのです。

しかし、神がイスラエルの民に対してそうあられたように、神の今日のあなたへのメッセージは**神はご覧になられている。神はみこころに留めておられる**です。神はあなたを見捨てておられず、あなたが今何を経験し、何を必要としているかを知っておられます。あなたが落胆しているとき、神は知っておられます。あなたが病気であることも、神は知っておられます。あなたが喜んでいるとき、神は知っておられます。あなたが罪を犯しているとき、神は知っておられます。あなたが神のことをないがしろにしているとき、神は知っておられます。そして、あなたが人生の苦難にあっても、忠実に神を追い求めているとき、神はそれを知っておられます。

そして出エジプト記は、神はただ知っているだけでなく、行動されると教えています。神は、私たちの生活の中で神が働いておられるのを見るのが困難であったり、障壁があったりするために、私たちが神を礼拝することができないような束縛から私たちを解放するために行動されるのです。ご自分の民のために介入してくださった究極の方法は、より優れたモーセを送ることによって、私たちを罪から救い出すことでした。大虐殺を生き抜いたもう一人の赤ん坊を遣わしたのです。マタイの福音書 2章 16節には、イエスという名の生まれたばかりの赤ん坊を見に来た何人かの賢者が、その国の王ヘロデにその情報を教えないようにと神に警告されたときのことが記されています。**マタイの福音書 2章 16節 ヘロデは、博士たちに欺かれたことが分かったと激しく怒った。そして人を遣わし、博士たちから詳しく聞いていた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯の二歳以下の男の子をみな殺させた。**

しかし、イエス様はその殺人行為を生き延び、人として成長し、私たちの救い主となりました。しかし、モーセのような人間的で不完全な一つの国民の救い主ではなく、私たちが罪の束縛から解放されるように罪のない神の御子が十字架上で命を捧げ、死からよみがえられたのです。そして神は、3000年以上前にイスラエルの民が経験したことを知っておられたように、今日あなたが経験していることも知っておられます。そして、イエス・キリストを信じる信仰によって罪の束縛から解放された皆さん、神はあなたを知っておられ、あなたを見ておられ、この本でわかるように、神の民と呼ばれる人々の中に神の栄光が見られることを目的として、あなたのために行動されるのです。祈りましょう。

## The Enslaved People Exodus 1-2

I want to start by reading [John 15:18-19](#). 18 “If the world hates you, know that it has hated me before it hated you. 19 If you were of the world, the world would love you as its own; but because you are not of the world, but I chose you out of the world, therefore the world hates you. I wanted to start with that passage, because it shows us that in God’s eyes our reality as the people of God is the same reality experienced by the people of God, the children of Israel 3400 years ago. We will see that in the first two chapters of Exodus, as we begin the actual book of Exodus today. When we last saw the family of Abraham in Genesis, they had moved to Egypt in order to escape a famine that would have wiped the family out. God had used Abraham’s great grandson, Joseph to save the people of Israel, the family name given to Abraham’s grandson Jacob. When we leave Genesis and begin Exodus, though, we find out the circumstances have changed and rather than being welcomed to Egypt as they had been in the time of Joseph, they are now enslaved. This is what we see as Exodus opens. Let’s see this in verses 5-14 from Exodus 1. <sup>5</sup> All the descendants of Jacob were seventy persons; Joseph was already in Egypt. <sup>6</sup> Then Joseph died, and all his brothers and all that generation. <sup>7</sup> But the people of Israel were fruitful and increased greatly; they multiplied and grew exceedingly strong, so that the land was filled with them. <sup>8</sup> Now there arose a new king over Egypt, who did not know Joseph. <sup>9</sup> And he said to his people, “Behold, the people of Israel are too many and too mighty for us. <sup>10</sup> Come, let us deal shrewdly with them, lest they multiply, and, if war breaks out, they join our enemies and fight against us and escape from the land.” // 11 Therefore they they set taskmasters over them to afflict them with heavy burdens. They built for Pharaoh store cities, Pithom and Raamses. 12 But the more they were oppressed, the more they multiplied and the more they spread abroad. And the Egyptians were in dread of the people of Israel. <sup>13</sup> So they ruthlessly made the people of Israel work as slaves <sup>14</sup> and made their lives bitter with hard service, in mortar and brick, and in all kinds of work in the field. In all their work they ruthlessly made them work as slaves.

God had promised to make Abraham into a great nation. In [Genesis 12:2](#), God tells Abraham, 2 And I will make of you a great nation, and I will bless you and make your name great, so that you will be a blessing. And the nation of Egypt provided the perfect space for God to grow the family that moved to Egypt as 70 people to a number now somewhere over a million as we find out later in Exodus. This was all part of God’s plan. In fact, God had prophesied this to Abraham long before he even had the son that God promised to give him. [Genesis 15:13](#) says, 13 Then the Lord said to Abram, “Know for certain that your offspring will be sojourners in a land that is not theirs and will be servants there, and they will be afflicted for four hundred years. So, the people of God find themselves enslaved in a land that is not theirs, serving a kingdom and people who do not honor their God. In fact, they are mistreated and used as the labor force for the Egyptian kings. They did not build the most well known ancient structures in Egypt such as the pyramids which were already there by the time Joseph became a ruler in Egypt, but they did make bricks used in the buildings and structures throughout a lot of ancient Egypt, specifically these cities named in this passage. How could this happen? How could a people clearly being blessed by God in fulfillment of his promises to make a great nation become slaves because of that growth? The answer is that God’s plans and even his blessings are so countercultural to the values of the world that they become a threat to any ungodly ruler.

And just like the world that we live in today, the ungodly rulers will in many ways support and sometimes mandate evil things in society. The people of God were confronted by this evil in their day and we have to face those issues today as well. We see this confrontation that happens next in Exodus 1:15-17 <sup>15</sup>Then the king of Egypt said to the Hebrew midwives, one of whom was named Shiphrah and the other Puah, <sup>16</sup>“When you serve as midwife to the Hebrew women and see them on the birthstool, if it is a son, you shall kill him, but if it is a daughter, she shall live.” <sup>17</sup> But the midwives feared God and did not do as the king of Egypt commanded them, but let the male children live. This event shows us that at least some in the society continued to fear God and follow him even in the face of a hostile world around them. This is supposed to be the stance of the people of God throughout history. There will always be rulers and world systems and nations that are against what we believe as Christians, as the people of God; but the people of God continue to follow God at risk of going against what the ruler and the world says. And God used the faithfulness of these women to bless not only the nation, but the world. They are so important that we know their names, but yet Pharaoh’s name is not mentioned. And that is significant since most historians who accept the Exodus account of history believe the Pharaoh at the time was Ramses II who historians regard as one of the most significant Egyptian rulers of all time.

Eventually, Pharaoh gets upset at the midwives who are clearly ignoring his order and gives the instruction to all the people of Egypt. Exodus 1:22 says, <sup>22</sup>Then Pharaoh commanded all his people, “Every son that is born to the Hebrews you shall cast into the Nile, but you shall let every daughter live.” It was into that environment that the boy was born who would become the Savior of the Israelites and lead them into an Exodus out of Egypt. Chapter 2 begins with this boy being born, and his mother hides him for 3 months and finally cannot hide any longer. She makes a basket that he can float in and puts it into the Nile river, and it seems that her hope is that some kind Egyptian will adopt this baby as their own so his life would be preserved. By God’s Sovereign plan the boy ended up being spotted by one of Pharaoh’s daughters and although she immediately knew the boy was a Hebrew and should be put to death, she instead adopted him and at the suggestion of the baby’s sister watching from the riverside hired his actual mother to nurse the child until he was old enough to be returned to Pharaoh’s daughter. So we read in verse 10 of Exodus 2, <sup>10</sup>When the child grew older, she [Moses’s actual mother] brought him to Pharaoh’s daughter, and he became her son. She named him Moses, “Because,” she said, “I drew him out of the water.” This boy named Moses would be the Savior who would lead the people out of Egypt. But first God had to shape him by pushing him outside of Egyptian and even Hebrew influence. Verses 11-15 describe how this comes about. <sup>11</sup>One day, when Moses had grown up, he went out to his people and looked on their burdens, and he saw an Egyptian beating a Hebrew, one of his people. <sup>12</sup>He looked this way and that, and seeing no one, he struck down the Egyptian and hid him in the sand. <sup>13</sup>When he went out the next day, behold, two Hebrews were struggling together. And he said to the man in the wrong, “Why do you strike your companion?” <sup>14</sup>He answered, “Who made you a prince and a judge over us? Do you mean to kill me as you killed the Egyptian?” Then Moses was afraid, and thought, “Surely the thing is known.” <sup>15</sup>When Pharaoh heard of it, he sought to kill Moses. But Moses fled from Pharaoh and stayed in the land of Midian. And he sat down by a well.

Moses had grown up in the Pharaoh's household. He likely enjoyed the best that Egypt had to offer, but he clearly never lost sight of who he was as a Hebrew man. Remember, although he was adopted by Pharaoh's daughter, his mother had actually raised him and he clearly knew his birth family really well, and felt that strong connection to his family and nation even though he was also seen as Egyptian. This was so strong that he murdered an Egyptian who was abusing a Hebrew, and tries to get these two Hebrew men to not fight based on their shared national and family bond. Unfortunately, this show of support for his people did not really go as planned and what he thought was a secret was not as hidden as he thought. Pharaoh does hear about the murder and Moses has to flee. But God is still at work, and while sitting by a well in the land of Midian wondering what to do Moses meets his wife, Zipporah, and becomes a shepherd working for his father in law, Reuel. And then we read about the birth of a son in verse 22. **<sup>22</sup>She [Zipporah] gave birth to a son, and he called his name Gershom, for he said, "I have been a sojourner in a foreign land."** So, even in the birth of his son and the name he gave him, we see this recognition on the part of Moses that the place he lives, whether in Egypt or Midian is not his true home. Abraham the first of this very large family of Hebrews also felt this sense of being a foreigner. **Hebrews 11:8-10 says, 8 By faith Abraham obeyed when he was called to go out to a place that he was to receive as an inheritance. And he went out, not knowing where he was going. 9 By faith he went to live in the land of promise, as in a foreign land, living in tents with Isaac and Jacob, heirs with him of the same promise. 10 For he was looking forward to the city that has foundations, whose designer and builder is God.** And now Moses feels that same sense of being a foreigner, a sojourner, in a land that is not really his own. This represents the feeling of all the people of Israel, the Hebrews, and to bring this closer to our time, it really should represent the feeling all of us should have as believers living in this world. The New Testament describes our condition as Christians with that same language of being sojourners and exiles in this world based on our status as the people of God. **1 Peter 2:9-11 says, 9 But you are a chosen race, a royal priesthood, a holy nation, a people for his own possession, that you may proclaim the excellencies of him who called you out of darkness into his marvelous light. 10 Once you were not a people, but now you are God's people; once you had not received mercy, but now you have received mercy. 11 Beloved, I urge you as sojourners and exiles to abstain from the passions of the flesh, which wage war against your soul.**

It's important for us to see our circumstances here on earth in Biblical terms, because God doesn't change, so God's actions towards his people in the time of Exodus show us God's heart and actions towards his people today. As chapter 2 draws to a close, we see the point of this passage that opens this book, and the heart of God towards the circumstances of his people. Let's read verses 23-25 of Exodus 2. **<sup>23</sup>During those many days the king of Egypt died, and the people of Israel groaned because of their slavery and cried out for help. Their cry for rescue from slavery came up to God. <sup>24</sup>And God heard their groaning, and God remembered his covenant with Abraham, with Isaac, and with Jacob. <sup>25</sup>God saw the people of Israel—and God knew.** This is the primary point of these first 2 chapters of Exodus and what happens in the rest of the book. The people of God were enslaved, and I'm sure to many of them, including Moses, it seemed like God was absent and silent in the face of their suffering. But God was there. He heard them. He remembered them, and he remembered and honored the covenant he had made over 400 years before with their ancestors Abraham, Isaac, and Jacob. I love that final phrase...**God saw...** and **God knew!** I don't know what you are going through today.

As we have already seen in Scripture, all of us who know God through Jesus Christ and are called his people are in an awkward situation because we live as permanent foreigners in this world – or we should feel that way, anyway. That makes life uncomfortable at best many times, and even dangerous depending on where we live, when we are public about our faith in Jesus Christ. But we also face the circumstances of life that come from living in a sinful world, where death and disease and natural disasters and war and politics can affect our lives. A world where families are fractured and even friends can fail and spouses sin against each other and sinful people hurt other sinful people. And the Bible tells us that [All have sinned and fall short of the glory of God, Romans 3:23](#). With our lives affected by all the affects of our own sin and others and the world around us, many times it can feel like God is silent, that he is very far away and unconcerned with what we are going through. So we go through life discouraged. Or we seek to amuse ourselves with distractions like sports or tiktok or a million other things both good and bad, so we don't see the discouragement in this life. That amusement and even the good that comes from the positive relationships in our life can keep our eyes focused so much on this world and its enjoyments that we forget that this is not God's ultimate life he intends for us. So either through discouragement or enjoyment, God seems distant and silent. But just like he was for the people of Israel, his message to you today is this...**God sees!** And **God knows!** He hasn't left you and he knows what you are going through and what you need at this time. When you are discouraged, he knows. When you are sick, he knows. When you are happy, he knows. When you are sinning, he knows. When you are neglecting the things of God, he knows. And when you are faithfully pursuing him in spite of the painful difficult things in your life, he knows as well.

And the book of Exodus tells us that God doesn't just know, he acts. He acts to free us from the bondage of whatever difficulty or barrier there is to seeing him at work in our lives that keeps us from worshipping him. The ultimate way that he intervened for his people was to rescue us from our sin by sending a better Moses. By sending us another baby who lived through a genocide. In Matthew some wise men came to see a new born baby named Jesus, and when God warned them to not share that information with the King of the land, Herod, we read in [Matthew 2:16, 16 Then Herod, when he saw that he had been tricked by the wise men, became furious, and he sent and killed all the male children in Bethlehem and in all that region who were two years old or under, according to the time that he had ascertained from the wise men](#). But Jesus survived that murderous act, to grow up become a man and become our Savior. But not a human and imperfect savior of one nation like Moses, but the sinless Son of God who gave his life on a cross and rose from the dead, so that we could be set free from the bondage of our sin. And just as God knew what the people of Israel were going through over 3000 years ago, he knows what you are going through today. And for those who are freed from the bondage of sin by faith in Jesus Christ, he knows you, he sees you, and as we will see in this book, he will act on your behalf for the purpose of his glory being seen in those who are called the people of God. Let's pray.